

MEDIA RELEASE

レンドリース、10 億米ドルのデータセンター共同事業を発表

2019 年 6 月 30 日東京 - 不動産およびインフラストラクチャーのリーディンググループであるレンドリースは、アジア太平洋地域におけるデータセンターへの投資を目的とした共同事業を発表しました。

レンドリースが 20%、大型機関投資家が 80% 出資し、当初 5 百万米ドルで組成され、レバレッジ後の投資総額で 10 百万米ドルを目指します。レンドリースが重要拠点を配するオーストラリア、中国、日本、マレーシア、そしてシンガポールでの既存物件の取得、および新規開発を行います。

開発、建設、投資分野にわたるレンドリースの総合力を、特に成長が見込まれるデータセンターセクターに活かし、この共同事業では、開発、建設、投資および不動産管理を担います。

レンドリースのアジア最高経営責任者であるトニー・ロンバードは、次のように述べています。「データセンターへの取り組みは、我々のインフラおよびテレコミュニケーションを主カテゴリーとした戦略や総合力を活かしたビジネスモデルに合致している。不動産投資の主流として急成長する可能性のあるデータセンター分野においても、私たちのプロジェクトマネジメント、設計や建設といった経験を活かすことができる。」

レンドリース・ジャパンのマネジング・ダイレクターであるアンドリュー・ガウチは次のように述べています。「日本においても、各企業の間でパブリッククラウドの普及が加速する中、ハイパースケールデータセンターのニーズも高まっている。そのような日本国内のニーズに応えられるデータセンターの提供を目指す。」

本共同事業は、関係当局による許可を前提としています。



詳細については、以下担当者にお問い合わせください。

青根 静

マネジャー

コーポレート・アフェア

080-3578-3971

Shizuka.Aone@lendlease.com

About Lendlease

レンドリースは、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、アメリカにおいて不動産とインフラストラクチャービジネスを展開するグローバル企業です。当社のビジョンは” TO CREATE THE BEST PLACES”, 世界中の人々の生活を刺激し豊かにする場所を創造することです。

オーストラリア・シドニーに本社を置き、オーストラリア証券取引所に上場、世界で約 13,000 人の社員を擁する企業です。

当社の強みは、不動産開発、建設そして投資の事業セグメントに表れています。この 3 つのセグメントのコンビネーションが持続可能な競争力を生み、お客様へ革新的なソリューションの提供を可能にしています。

www.lendlease.com

